

その他の建設業－その他における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	片付け作業中、積んである石材を移動中に荷崩れを起こしてしまい、右足に落ちて怪我してしまった。	50	—
1	14～ 15	解体現場にて解体作業中、1500cm～2000cmほどのコンクリート塀が倒れてきて、両手で支えたが重さに耐えられず、手をはなして逃げようとしたが、塀が倒れて足を挟まれ負傷した。	19	1～9
2	10～11	被災者は、3階にてOAフロア材の移動を2名で行っていた。OAフロア材を下ろそうとしたが、ハンドパレットがパレットから抜けず、2台目のハンドパレットを用意した。一本だけ差し込んで上げたところ、荷を押さえていた被災者の右足に、OAフロア材（600kg）が荷崩れし被災した。	24	1～9
3	14～15	店舗解体工事現場で2F天井のケーブルラック撤去作業中に、ラック上のケーブルを引っ張ったところ吊具が外れ、ケーブルラックが落下してヘルメットのつばをかすめ、上唇にあたり、脚立2段目より右腕をつく様に落下し、右橈骨骨折、上あごの前歯が1本折れる負傷をした。	59	10～29
4	10～ 11	被災者は、当事業所倉庫内にてガラスパレットにガラス18枚（914cm×1829cm、厚さ5mm）を乗せ、倉庫内で移動作業を2名で行っていたところ、バランスを崩しガラスが倒れて下敷きとなり、頭部と手を切り、腰を強打し、背骨にひびが入り負傷した。	46	1～9
4	14～ 15	プレハブ解体現場で最後の鉄骨バラシの際、鉄骨支えの準備中強風で鉄骨が倒れ、下敷きになり打撲した。（鉄骨の柱のアンカーボルトが腐っていた。）	31	1～9

4	13～ 14	駐車場機械敷地にて機械を分解した時、機械を支えた木のブロックがずれていたため部品をはずしてバランスが悪くなり、機械が倒れかかった。	76	1 ～ 9
4	11～ 12	処分場コンクリートがら置場横にて小割作業をしていた時に、鉄筋の付いているがらを分別していたところ、引っぱった反動で、上のコンクリートの塊がすべり落ちてきて右手親指をはさんで粉碎骨折を負った。	31	30 ～ 49
5	10～ 11	墓地基礎工事にて運搬車からランマーを降ろそうとした際に、ランマーが滑り落ちそうになり、支えようとして指を挟まれた。	43	1 ～ 9
5	10～ 11	足の下で片付け作業をしている時に、足場の部材が倒れ落ちてきて背中に当たった。当初は打撲だと言われたが痛みが取れず、後日に腰椎突起骨折だと診断された。	36	10 ～ 29
5	11～ 12	駐車場解体工事中、境界ブロック付近で境界ブロックの縦筋を切断するための研り作業を完了し、鉄筋切断が出来るかの確認をしている時に、突然倒れてきた境界ブロックに、境界ブロックが不安定な状態にもかかわらず、作業員が危険予知を怠り、確認のために境界ブロック際に立ち入ってしまい、屈んだ状態で確認作業をしていたためブロック塀が倒れてくるのに気付かず、3m×1.5mのブロック塀の下敷きになった。	55	—
5	10～ 11	自社倉庫にて、棚の上の荷物を取ろうとして引き抜いた時、隣の荷物が左肩に落ちてきて負傷した。	66	1 ～ 9
6	11～ 12	休転作業で使用のリース品返却及び工場内片付け作業中に、工事で発生した古ベルトが工場内に放置されているため、2名にて古ベルトをシャーリングで切断しようとしていた。シャーリングに古ベルトを押し込んでいる際、鉄板送り用のローラー付テーブル（幅1150×奥行き200×高さ850、重量約70kg）が、ベルトと接触し倒れ、作業員2名の右足甲が挟まれた。	22	50 ～ 99
7	14～15	作業場内で棚を移動している時に棚が倒れて指を挟んだ。	40	1 ～

				9
7	15~16	現場で鉄の柱を支えているときに誤って倒れてしまい、左足甲に落ちてきて負傷した。	52	1 ~ 9
7	15~16	K-2岸壁荷捌地にて本船から揚げられた製材を被災者は7tフォークリフトを運転し、所定の位置まで運搬、配付け作業を行っていた。そして既に配付けされていた製材6束6段（1束：長さ4m幅0.7m高さ0.8m重量約1.5トン）の前に製材2束を配付けしようとしたところ、製材6束の配がくずれてきて、最上段の1束がフォークリフトヘッドガードに落下し押しつぶれたヘッドガードと座席に挟まれ負傷したものである。	43	1 ~ 9
7	7~8	土木建築材料店に材料引取りに出向いた際、資材をダンプに積み込むためステップとして積んである敷石に乗り、ダンプの荷台に乗ろうとしたところ、敷石が崩れ、崩れた石が左足に落ち、足（踵）が挟まれ、踝辺りを切創した。	25	1 ~ 9
7	11~12	立て掛けてあったボードの中から一枚を引っ張り出そうとして、重さに耐えきれず倒れてしまい、下敷きになった。	20	1 ~ 9
7	15~16	工場内、作業加工場にて重さ約60kgの材料（加工前屋根材、コイル、ガルバリウム鋼板）を整頓作業中、材料が倒れるなどの落下があり、それを保護するように右手で材料を受け止めた。その際、材料と床とで右手を挟まれ、右手を負傷した。	26	1 ~ 9
9	11~12	資材置場にて、廃材分別中に、ブロックベイがたおれてきて、右足の足首とふくらはぎを骨折した。	20	1 ~ 9
9	10~11	歩道部での堀削作業中、重機での堀削が困難な場所のため、①地点にて、被災者が人力堀削を実施。人力堀削が完了して堀削溝から出るため、被災者が①→②へ移動中、被災した。	37	10 ~ 29
9	14~15	型枠を作成中、仮に柱に立掛けてあるコンパネ（1600×900重さ約15kg木製）の下に置いてあったベニヤをしゃがんで引っ張った際、コンパネが倒れ首の後ろをコン	25	1 ~

		パネの側面が直撃し負傷した。		9
10	14～ 15	共同住宅解体工事で、資材置場で木の整理中に木材を積み上げていたところ、木材が崩れ出て右足に当たり骨折した。	71	10 ～ 29
10	8～9	朝礼後、1F外部足場外側に立て掛けてあったワイヤーメッシュ13枚を固定していたトラロープを外し7枚を玉掛けしようとした際、立て掛けていたワイヤーメッシュの角度が垂直に近かったため、被災者に倒れてきた。	29	10 ～ 29
11	15～ 16	以前、田んぼだった所に資材置場を拡張する工場を施行しており、盛土した脇の溝に砂利や土を入れる作業をしていた。ここ数日の雨で地盤が緩んでおり土留めで補強しながら進めていった。事故が起こったのは、その土留めを設置している途中に土が崩れ水の溜まった溝の中にいることで足が滑ってしまい、逃げる間もなく巻き込まれてしまった。	48	1 ～ 9

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html